



Australian Government

Australian Office of Financial Management

AOFM

# AGS 投資家向け図表・情報パック

## — 2020-21年度政府予算 更新情報

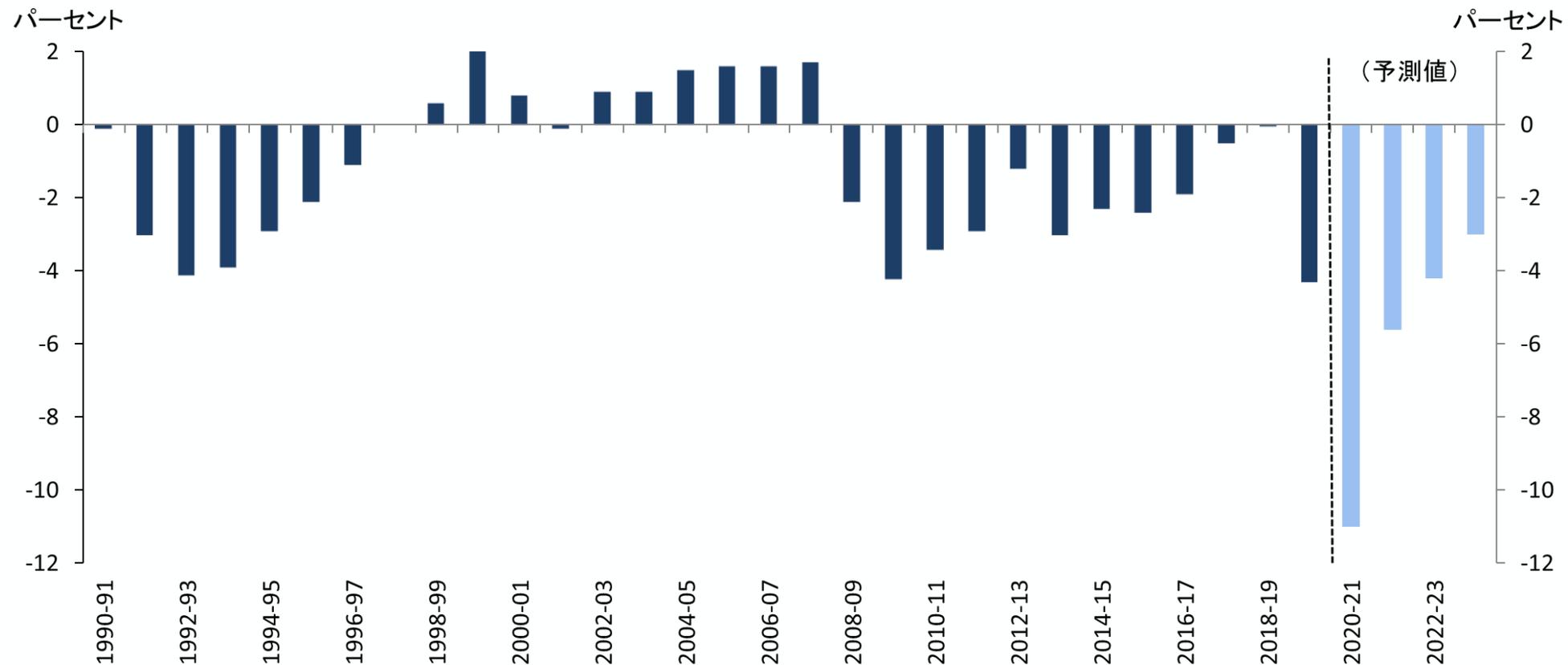
オーストラリア債務管理庁

2020年10月

# オーストラリアの財政状況

## 対GDP比の基礎的財政収支（パーセント表示）

財政状況はCOVID-19（新型コロナウイルス）の影響を受けて大幅に悪化。2020-21年度の財政収支 [Underlying Cash Balance] はGDP比で11%となる見通しで、2023-24年度までにGDP比3%まで改善される見込み。パンデミック蔓延以降の財政面でのコロナ関連支援策は約5,070億ドル規模、GDP比換算では25.6%と発表。

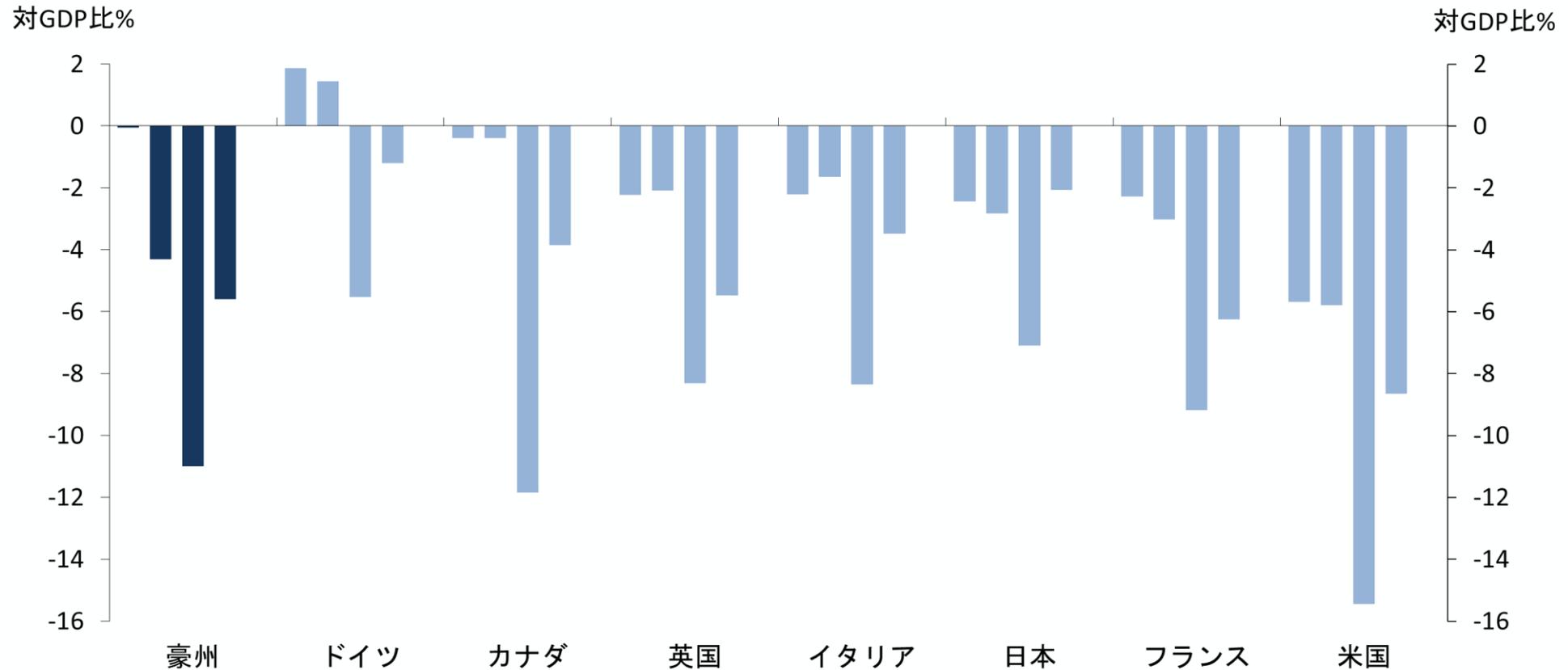


出典：連邦財務省－2020-21年度予算

# 各国の財政状況比較

## 2018年～2021年（予測値）の豪州とG7諸国の財政状況比較

オーストラリア政府は強固なバランスシートを背景に新型コロナ対策を管理。この状況は政府の支援策を安定的に下支えすると思われる。コロナ危機収束後のバランスシートは、世界的にも比較的低水準の純負債を維持できると思われる。S&P、ムーディーズ、フィッチは先頃、豪州のAAAソブリン格付け据え置きを発表。

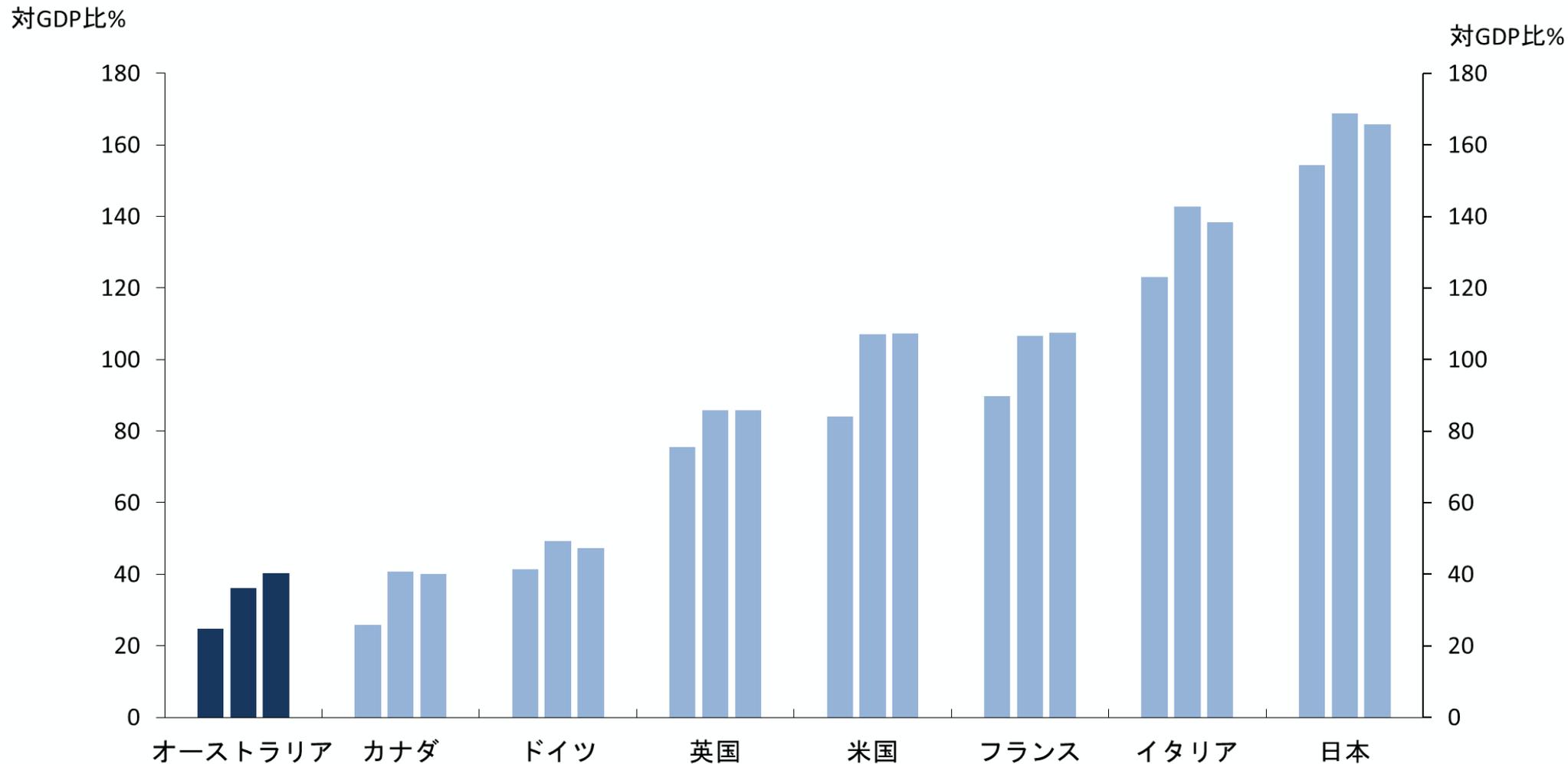


注：オーストラリアのデータは、2019-20年度から2021-22年度までの豪州政府一般政府セクターのものを使用。

出典：連邦財務省－2020-21年度予算、IMF財政モニター－2020年4月

# 各国の純債務比較

2019年～2021年（予測値）の豪州とG7諸国の純債務比較



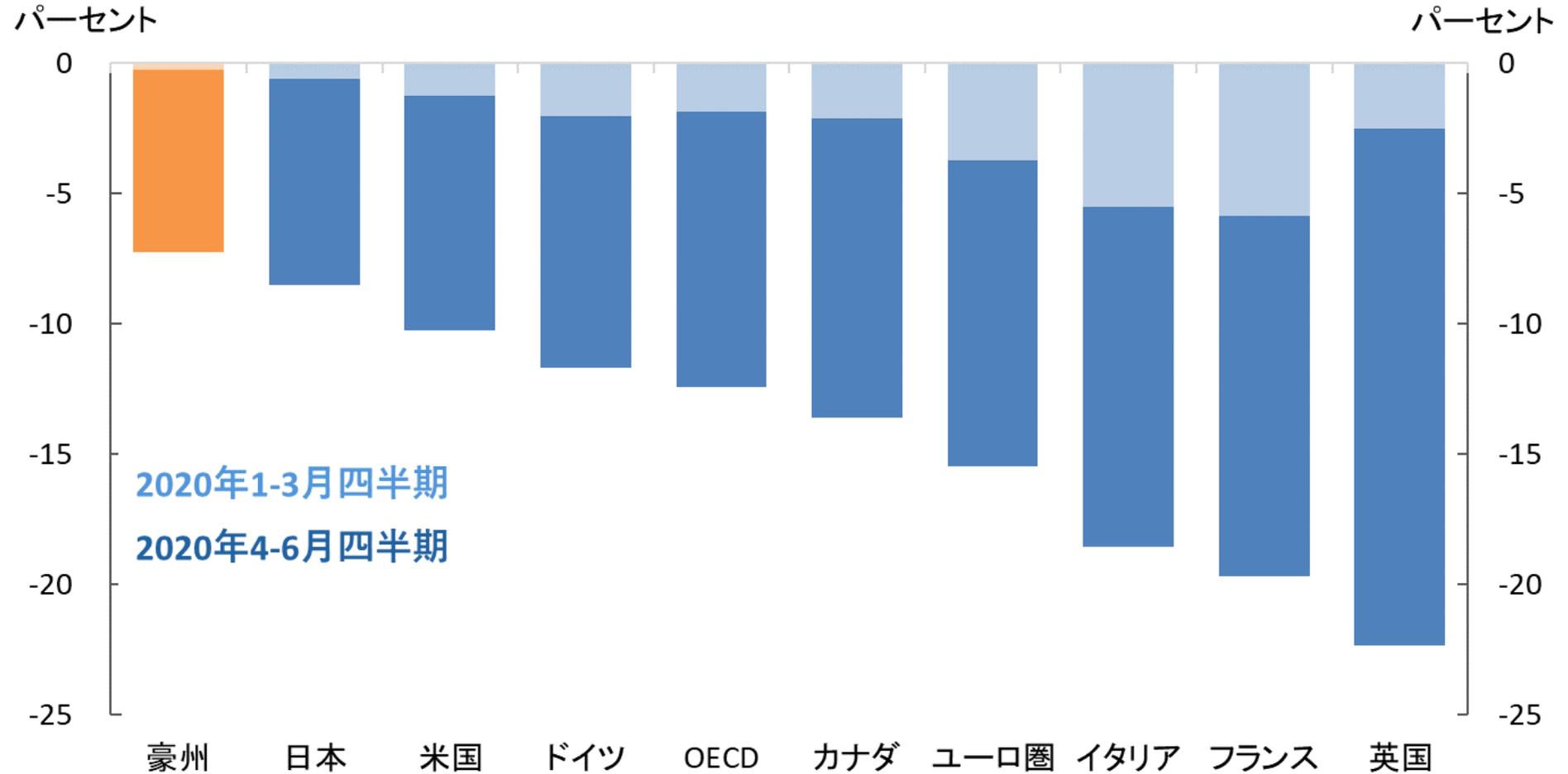
注：オーストラリアのデータは、2018-19年度からのオーストラリア政府一般政府セクターのものを使用。

豪州以外の国のデータは政府合計のものを使用し、期間は2018年（暦年）から。

出典：連邦財務省-2020-21年度予算、IMF財政モニター-2020年4月

# 2019年10-12月四半期以降のGDP累積成長率

G7諸国およびオーストラリアの数値



出典：OECD Quarterly National Accounts

# オーストラリア国債

3種類の国債を発行

## トレジャリー・ボンド

発行残高

7,082億ドル

30本発行中

1本あたり平均236億ドル規模

償還期限は2022年～2051年

2020-21年度総発行額（見込み）

約2,400億ドル

## トレジャリー・インデックス・ボンド

発行残高

370億ドル

7本発行中

1本あたり平均53億ドル規模

償還期限は2020年～2050年

2020-21年度総発行額（見込み）

約20億～25億ドル

## トレジャリー・ノート

発行残高

690億ドル

11本発行中

1本あたり平均63億ドル規模

償還期限は最長2021年7月まで

### 補足

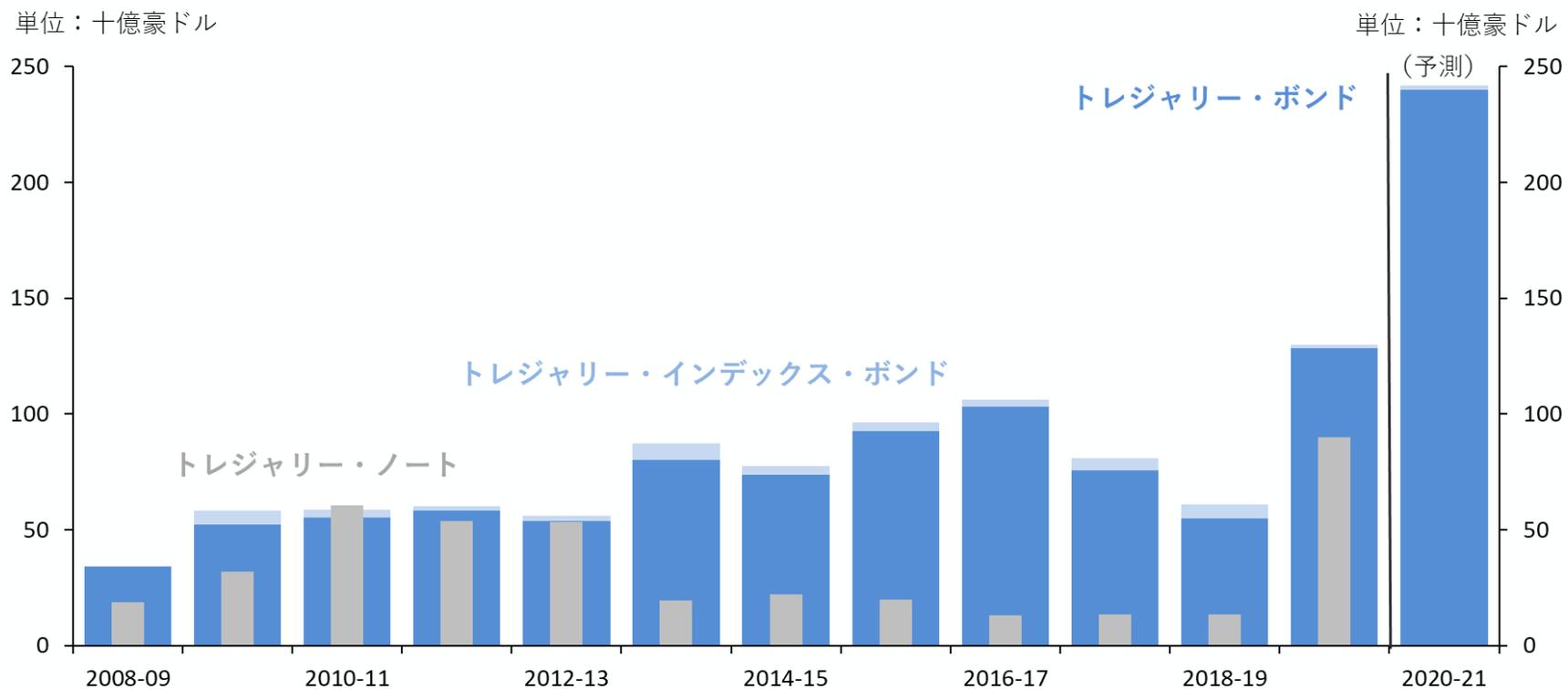
- 2019-20年度には償還期限をそれぞれ2025年、2026年、2031年、2051年とする4本のトレジャリー・ボンド（TB）を新たに発行。2020-21年度下半期には2032年を償還期限とする新たなTBがさらに追加される予定。
- 総額30億～40億ドル規模のTB入札がほぼ毎週行われる予定
- 引受シ団経由での既発長期トレジャリー・ボンドのタップ発行も引き続き検討
- 2020-21年度中は通常の定期的なトレジャリー・ボンド買取入札を再開する予定は無し
- トレジャリー・インデックス・ボンドについては、ほぼ毎月2回の入札を予定
- 20億～40億ドル規模のトレジャリー・ノート入札はほぼ毎週行われる見込み

注：数値は2020年10月9日時点のもの。トレジャリー・インデックス・ボンドに記載されている額は、CPI調整をしていない既発債の額面価格に基づいた数値です。

# オーストラリア国債発行額の推移

## 発行総額

- 2020-21年度のトレジャリー・ボンド発行額は約2,400億ドルとなる見通しで、このうち1,170億ドルは2020年10月6日時点で既に引受済み。2020年（暦年）中については、ほぼ毎週30億～40億ドルが入札発行される予定。
- トレジャリー・ノートの定期発行は、ほぼ毎週の20億～40億ドルの入札発行により継続される予定。
- トレジャリー・インデックス・ボンド（TIB）は2020-21年度に20億～25億ドル分発行される見込みで、このうち6億5千万ドル分は既に引受済み。TIBはほぼ毎月2回の入札を予定。

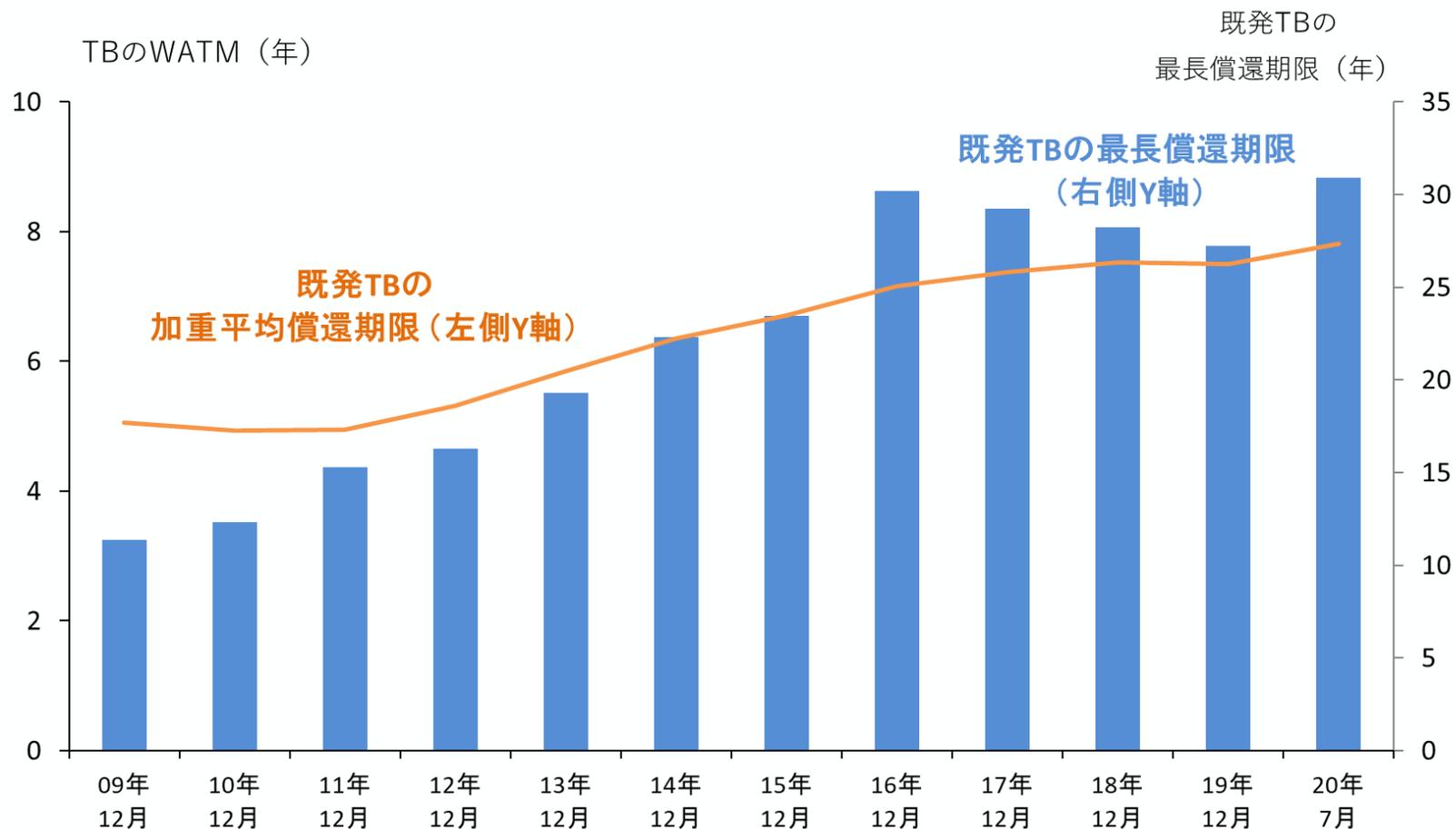


出典：AOFM。2020-21年度のトレジャリー・ノートの発行見込みは公開していません。

実際のトレジャリー・ノートの発行額は政府の歳出・歳入フローにより変動します。

# トレジャリー・ボンド利回り曲線の長期化と長期債発行傾向

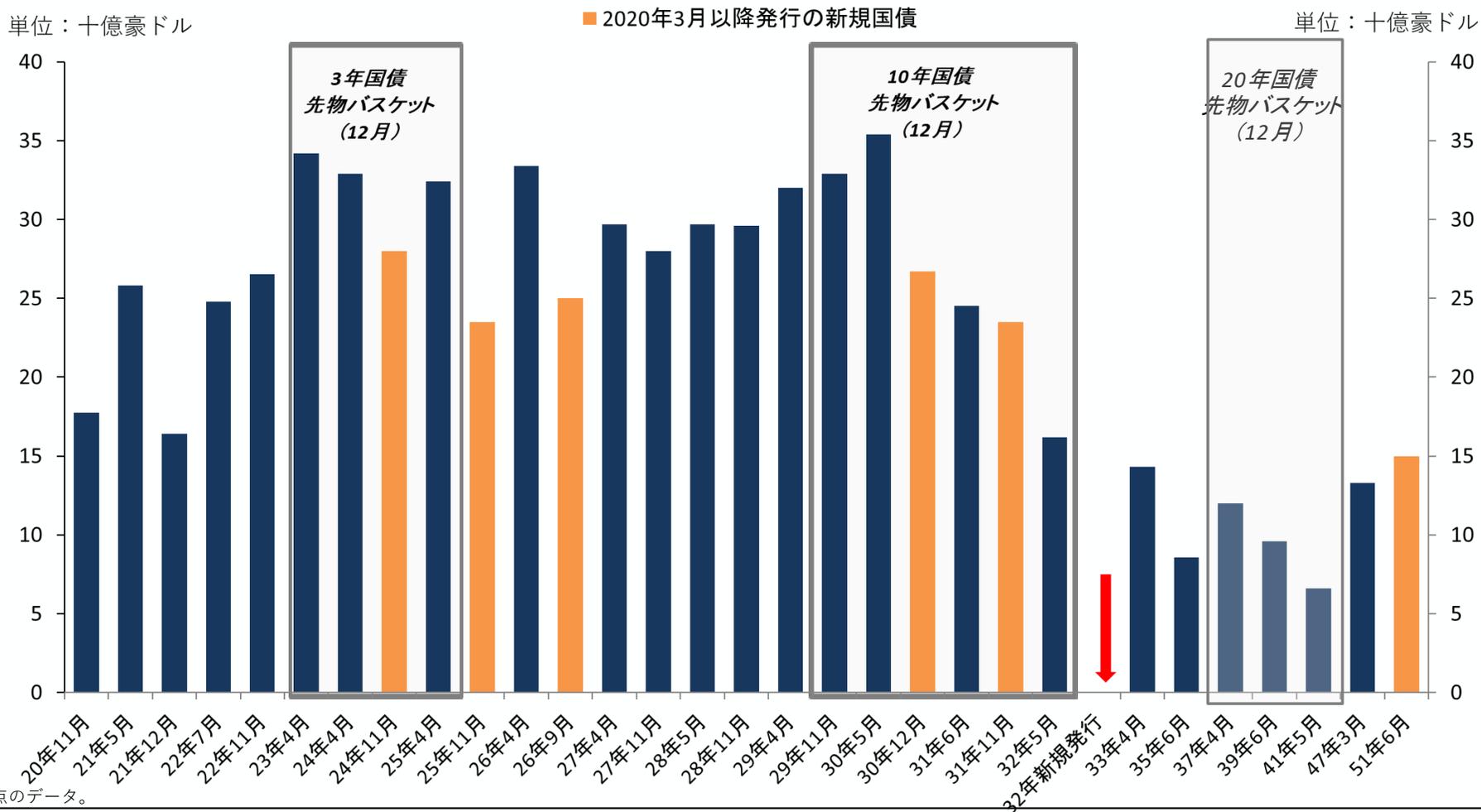
AOFMは引き続き、トレジャリー・ボンド（TB）の利回り曲線を30年までで維持することを債務管理戦略の主目的のひとつに。先頃引受シ団向けに新規発行された2051年6月満期のTBは、TBポートフォリオのWATM（Weighted Average Term to Maturity：加重平均償還期限）を7.8年程度に引き上げた。AOFMは残存期間中の流動性の差異を認識しており、超長期債の発行済み分を、あくまでも市場に悪影響を及ぼさない範囲内で計画的に引き上げていくことを目指す予定。



出典：AOFM

# 現在発行されているトレジャリー・ボンド

AOFMは引き続き、利回り曲線でもっとも流動性が高い（需要が高い）箇所での大量発行をターゲットとしつつ、需要に応じて適切な量を発行することで市場のそれ以外の箇所も支えていく。2020年3月以降、新たに6本のトレジャリー・ボンドが発行されており、2020-21年度下半期には新たに2032年償還期限のものも発行予定。また、引受シ団経由での既発長期債のトップ発行も検討される。AOFMは発行が再開される2021年1月頃に、新たな国債発行計画を発表する予定。この計画では、年によっては慎重に選択したうえで3つめの償還期限を追加することが含まれる可能性もある。



出典：AOFM。2020年10月9日時点のデータ。

# 出来高-トレジャリー・債券

AGS (Australian Government Securities: オーストラリア国債) 市場における流動性には依然として魅力がある— 特に3年物と10年物の先物バスケット周りではこれが顕著に。AGS仲介業者間の取引は堅調で、銀行が流動性をもたらすために国債をショートする必要があったときに、投資家を後押しするコンフィデンスにつながっている。

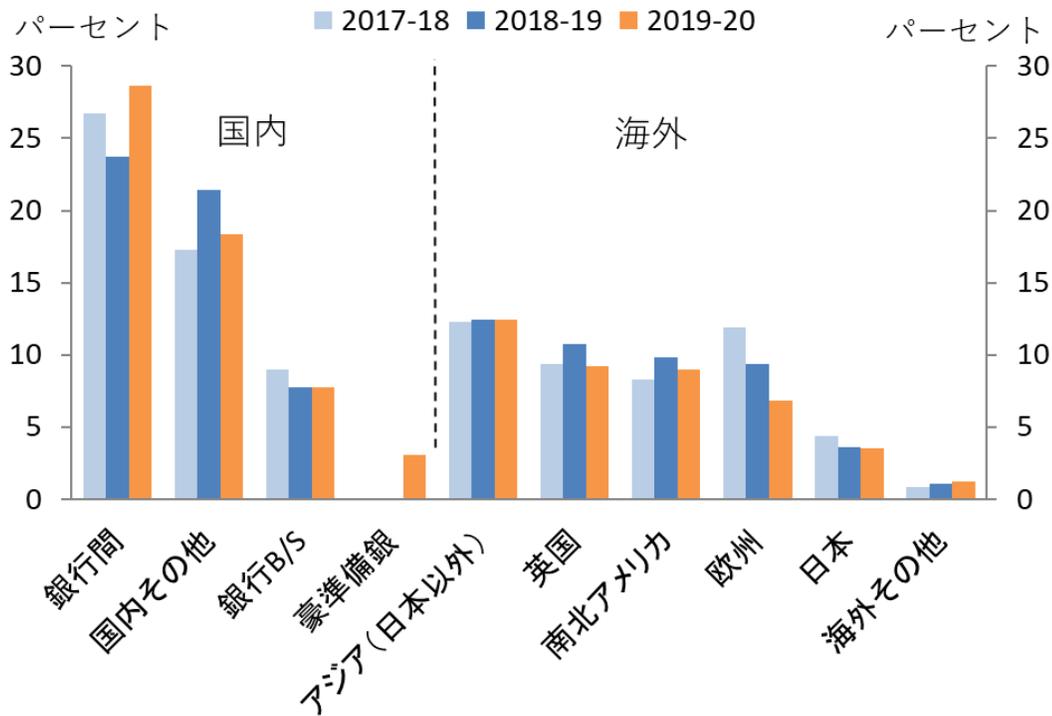
出来高総額1.54兆豪ドル (2019-20年度)

1.30兆豪ドル (2018-19年度)

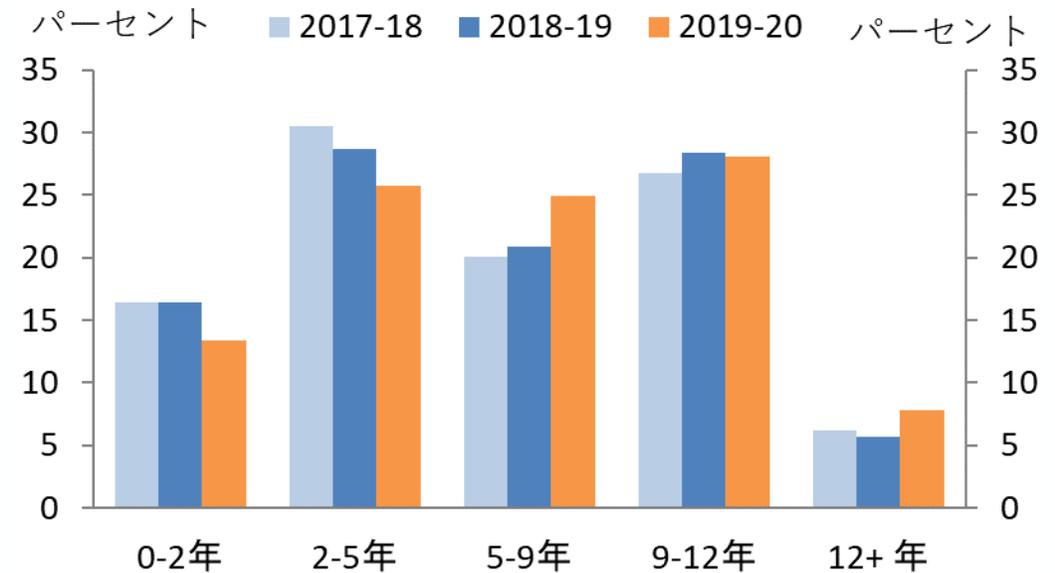
月平均1,290億豪ドル (2019-20年度)

1,080億豪ドル (2018-19年度)

カテゴリ別の出来高 (パーセント)



残存期間別の出来高 (パーセント)



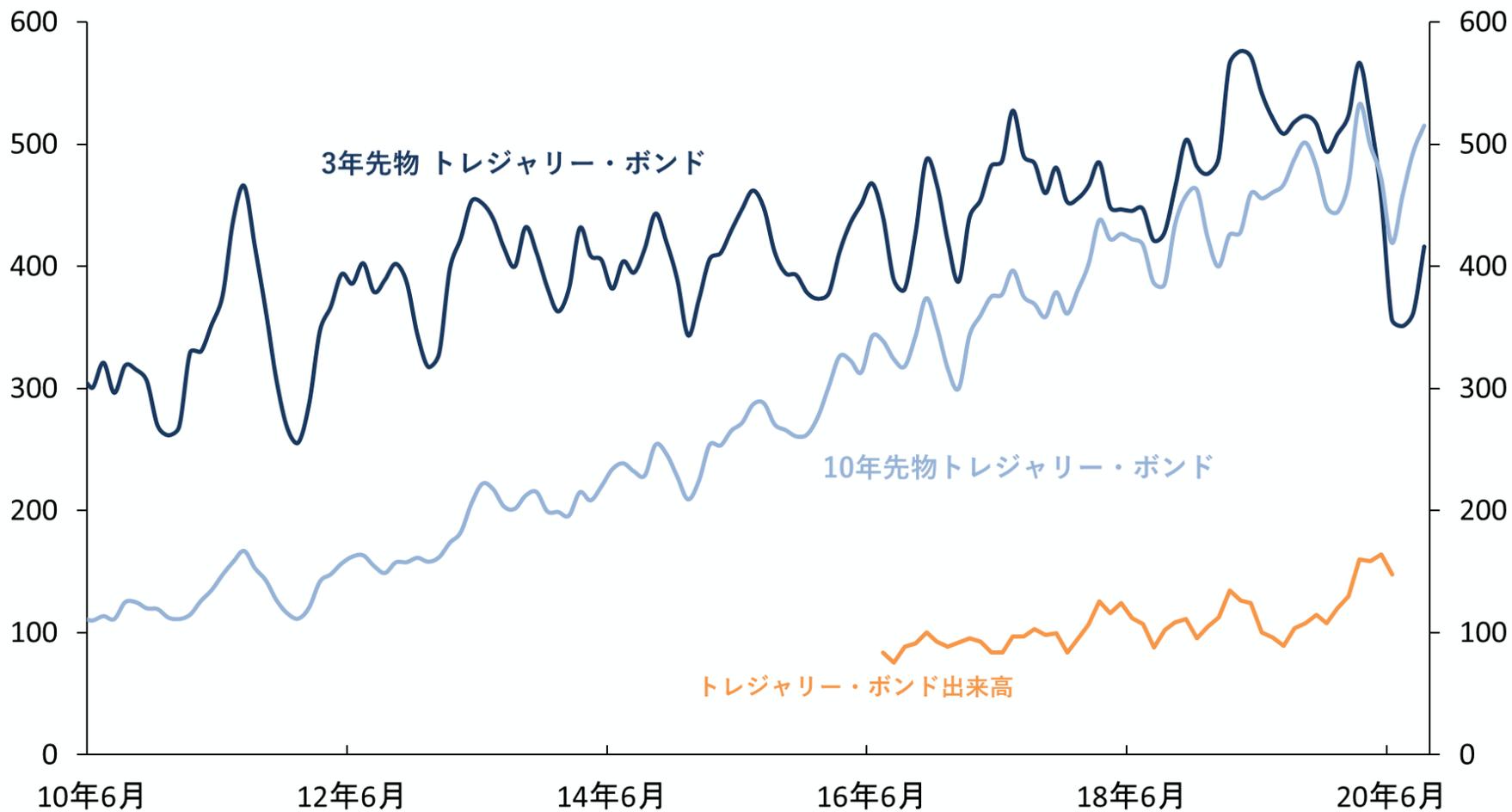
出典：AOFM。AOFMは調査回答者からのデータに頼っており、このデータの正確性を保証できません。

# 先物市場におけるトレジャリー・ボンドの推移

月別出来高 (3カ月移動平均)

単位：十億豪ドル

単位：十億豪ドル

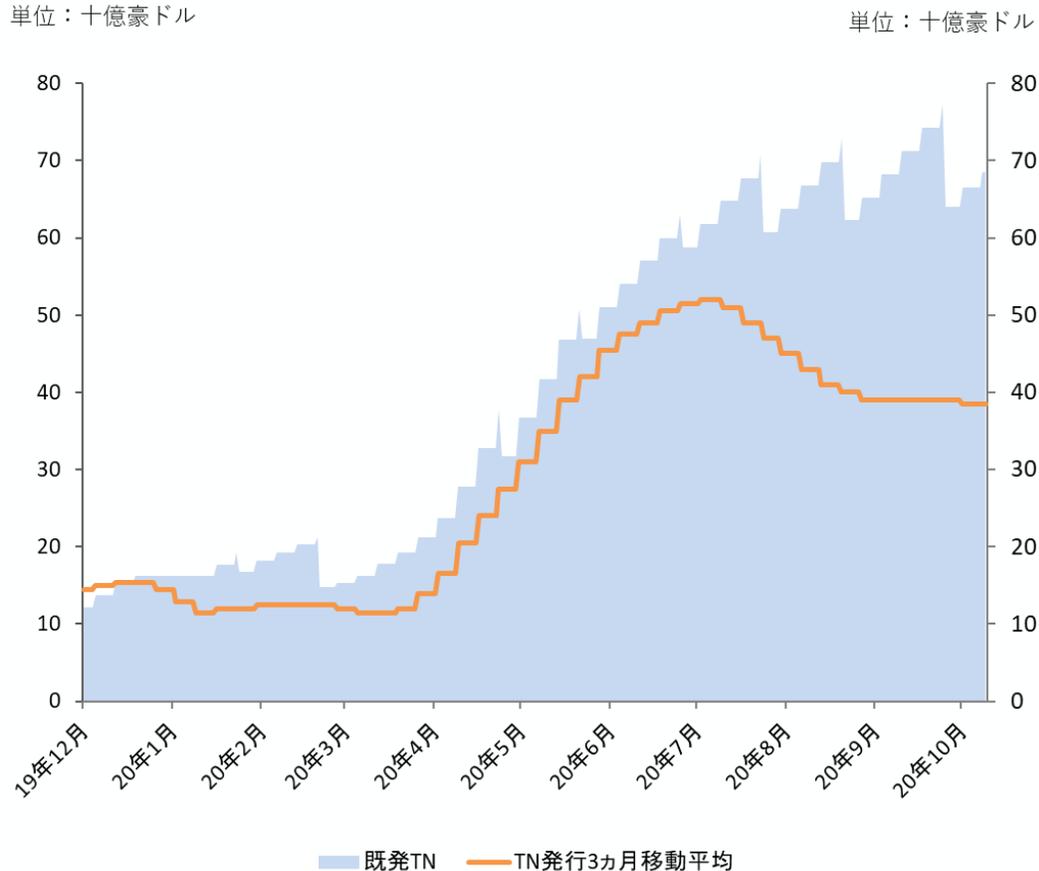


出典：ASX（オーストラリア証券取引所）、AOFM

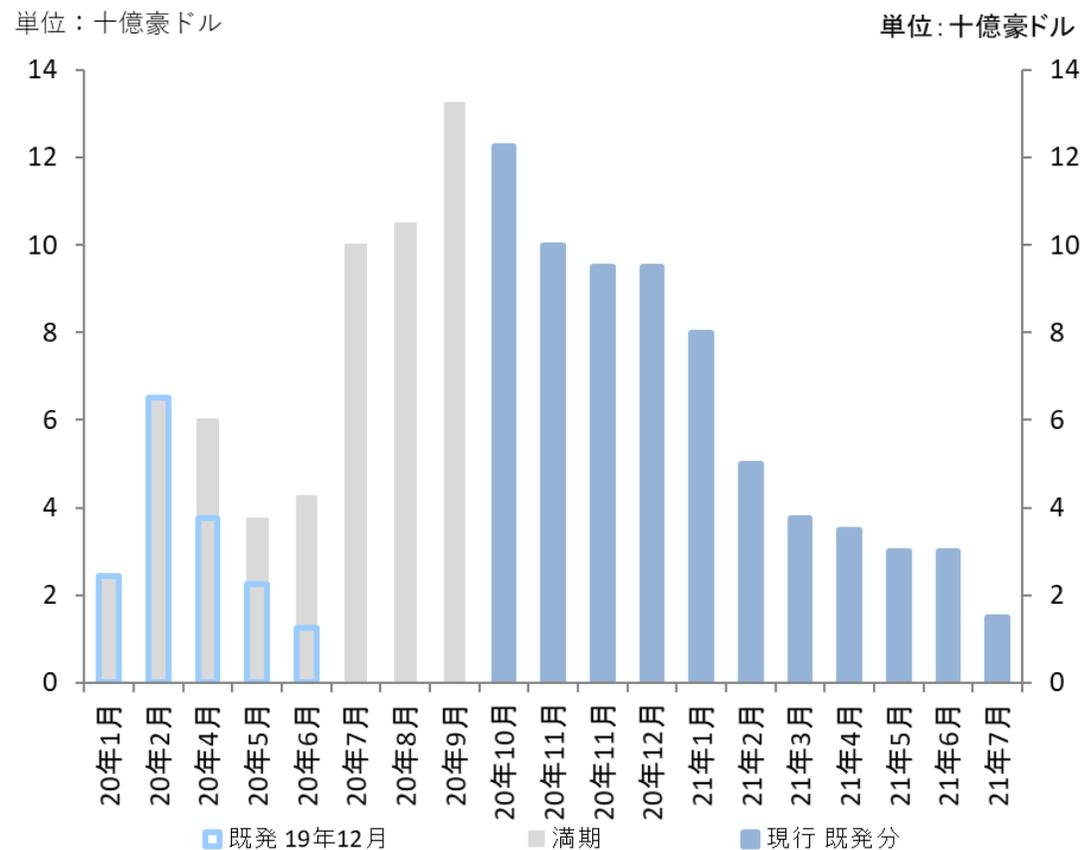
# トレジャリー・ノート発行額の推移

トレジャリー・ノート（TN）の発行は、キャッシュマネジメント上の需要に応じて、毎週20億～40億ドルを予定。TNは今年通年でも、将来的にも当面は重要な役割を担う。既発TNの一部がゆくゆくは長期債に切り替えられることが予測されるが、AOFMは切り替えを行う前に、2020年3月に市場が混乱して以降の投資家のTNとのエンゲージメント経験を注意深く省察する。

単位：十億豪ドル



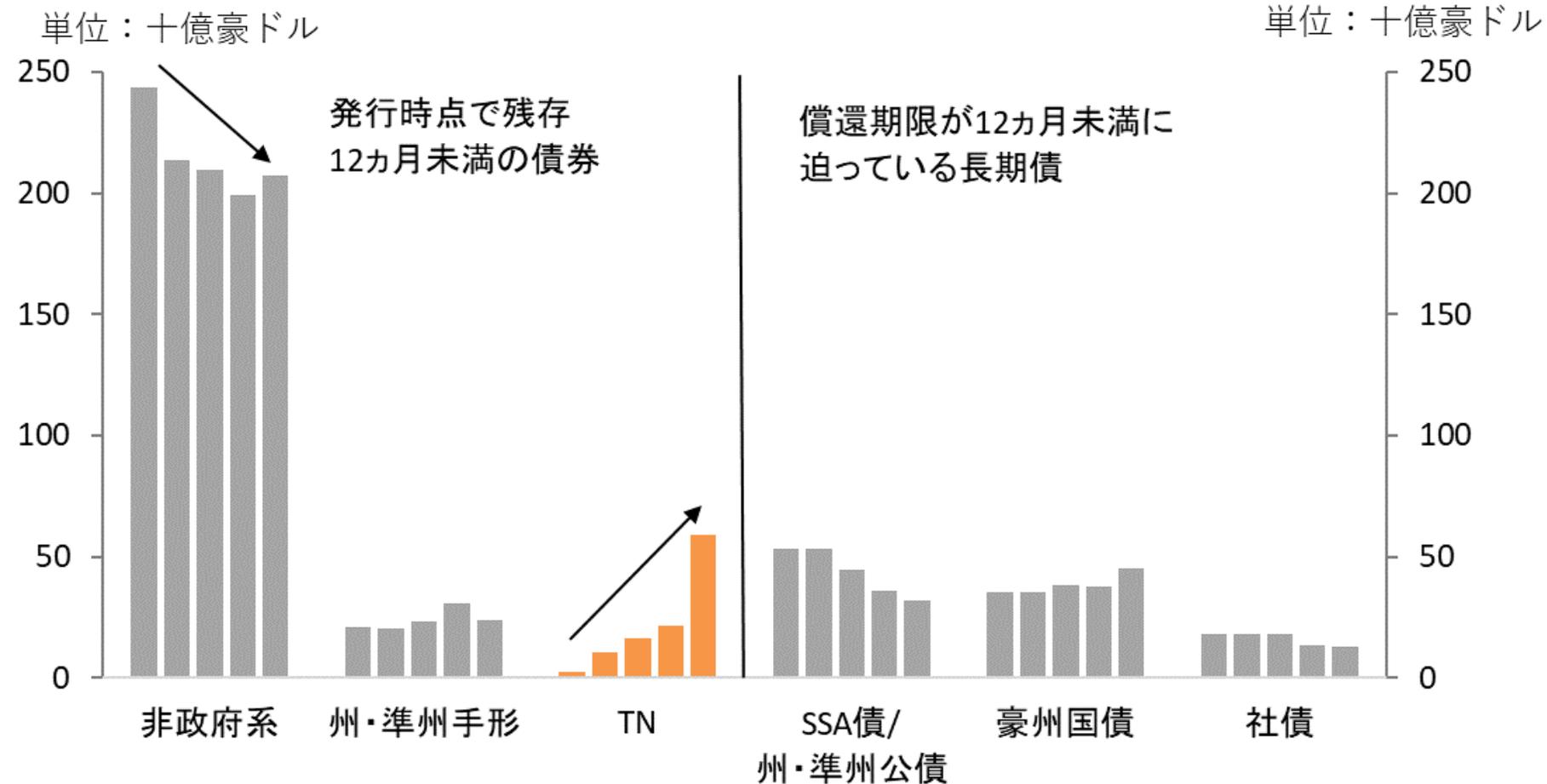
単位：十億豪ドル



出典：AOFM

# 短期債取引におけるトレジャリー・ノートの増額と重要性

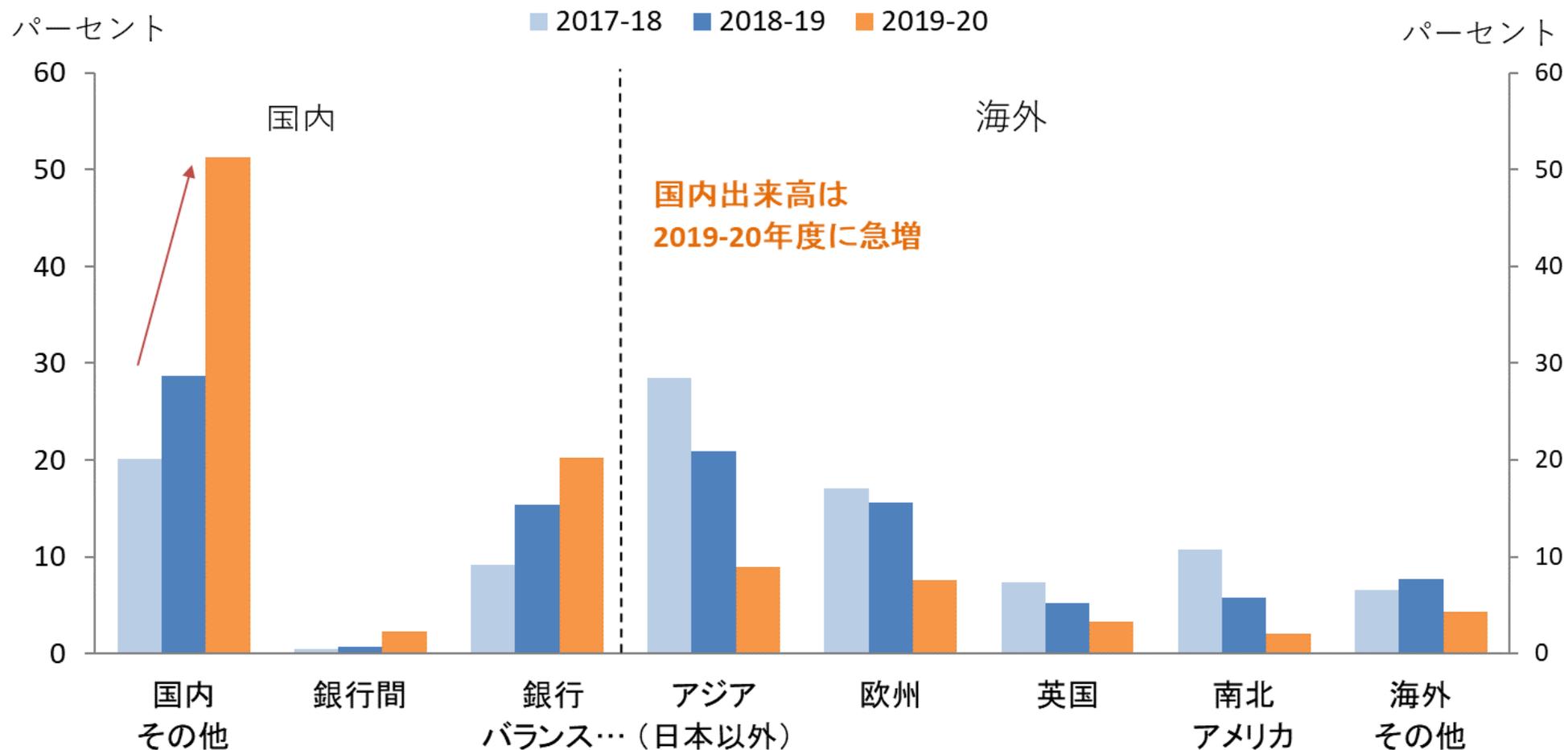
2019年6月～2020年6月



出典：AOFM、RBA（豪州準備銀行）

# 地域別・セクター別のセカンダリー市場出来高推移

対象：2019-20年度中のトレジャリー・ノート



出典：AOFM

# 発行中のトレジャリー・インデックス・ボンド

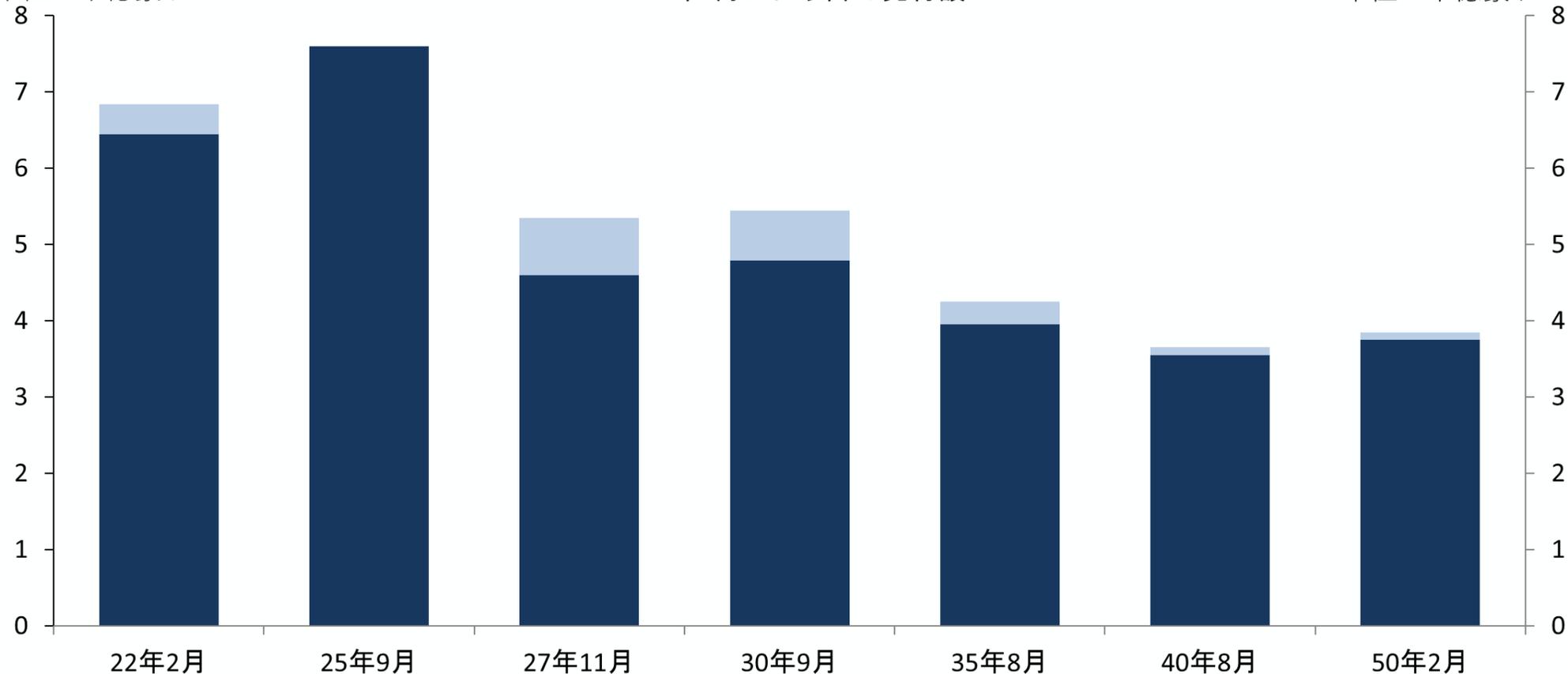
表示額はCPI変動を調整していない額面価格です

AOFMは昨年は特に顕著だったTIB（トレジャリー・インデックス・ボンド）市場における流動性の問題を認識しており、入札の規模や頻度にかかる意思決定でマーケット・コンディションを考慮することにより、市場へのサポートを継続していく。AOFMは定期発行による供給が市場にとって重要であることも認識している。

単位：十億豪ドル

■ 2019年6月30日以降の発行額

単位：十億豪ドル



出典：AOFM。2020年10月9日時点のデータ。

# 出来高 - トレジャーリー・インデックス・ボンド

出来高総額490億豪ドル (2019-20年度)

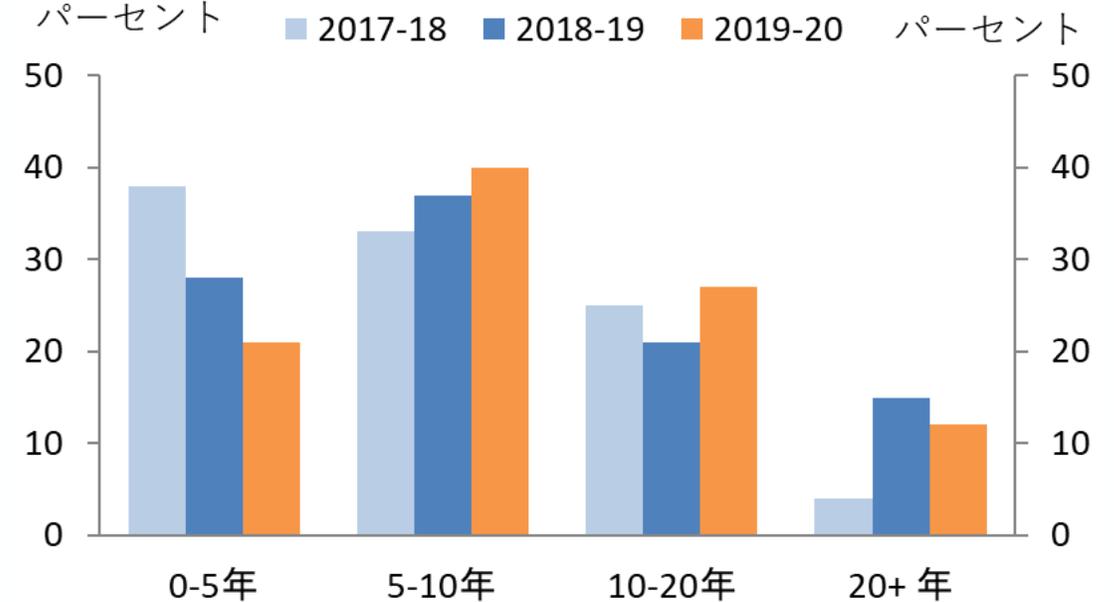
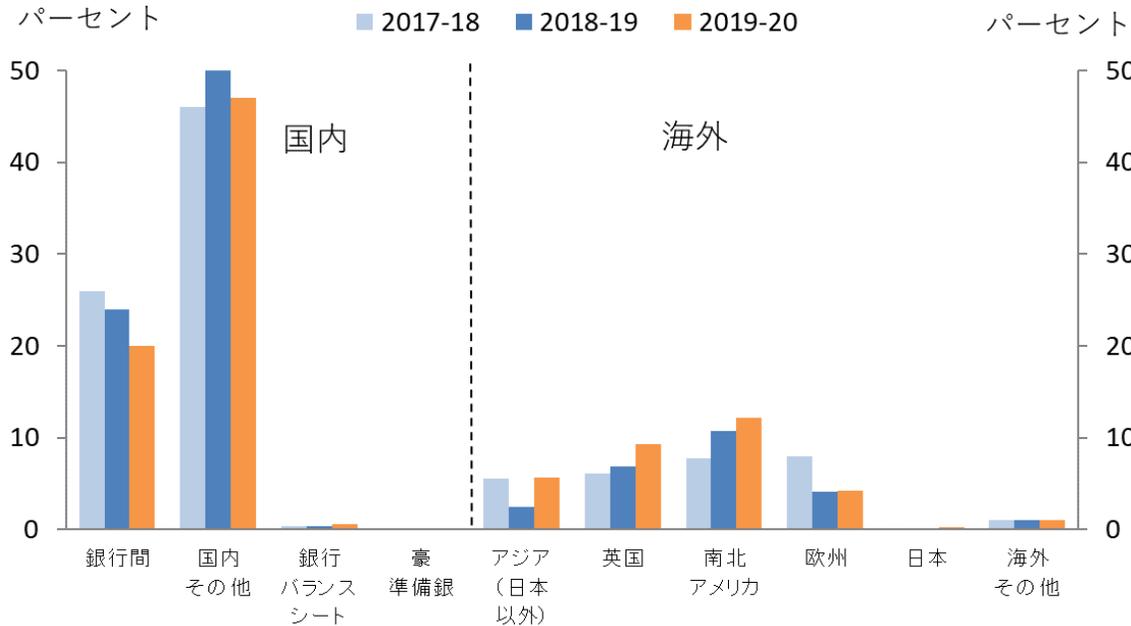
520億豪ドル (2018-19年度)

月平均40億豪ドル (2019-20年度)

44億豪ドル (2018-19年度)

カテゴリ別の出来高 (パーセント)

残存期間別の出来高 (パーセント)

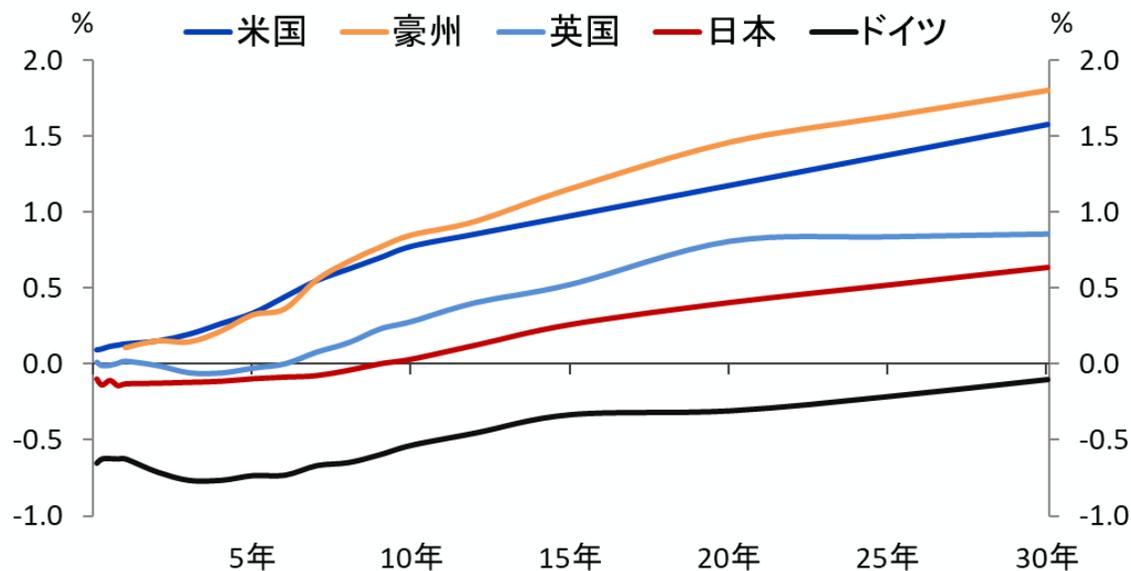


出典：AOFM。AOFMは調査回答者からのデータに頼っており、このデータの正確性を保証できません。

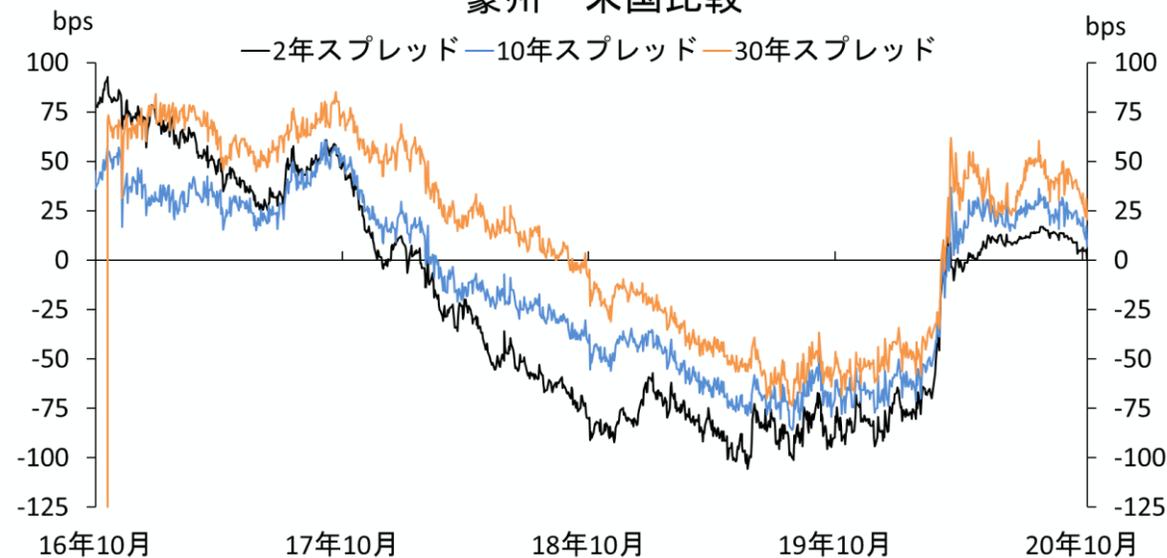
# オーストラリアのソブリン債スプレッド

- ▶ 先頃からの市場の変化により、AGS（オーストラリア国債）の対米国債マイナススプレッド状態が逆転するも、AGS市場はその他の主要ソブリン債市場では多くの海外投資家にとって買い入れ・ヘッジ後の双方でその魅力を維持。
- ▶ AGSの豪州国内投資家ベースは銀行バランスシートとファンドマネージャーが多勢を占める状態が続いている。こうした投資家たちは3月後半の混乱期の後、早期から市場とのエンゲージメントを再開していた。

## ソブリン債イールドカーブ

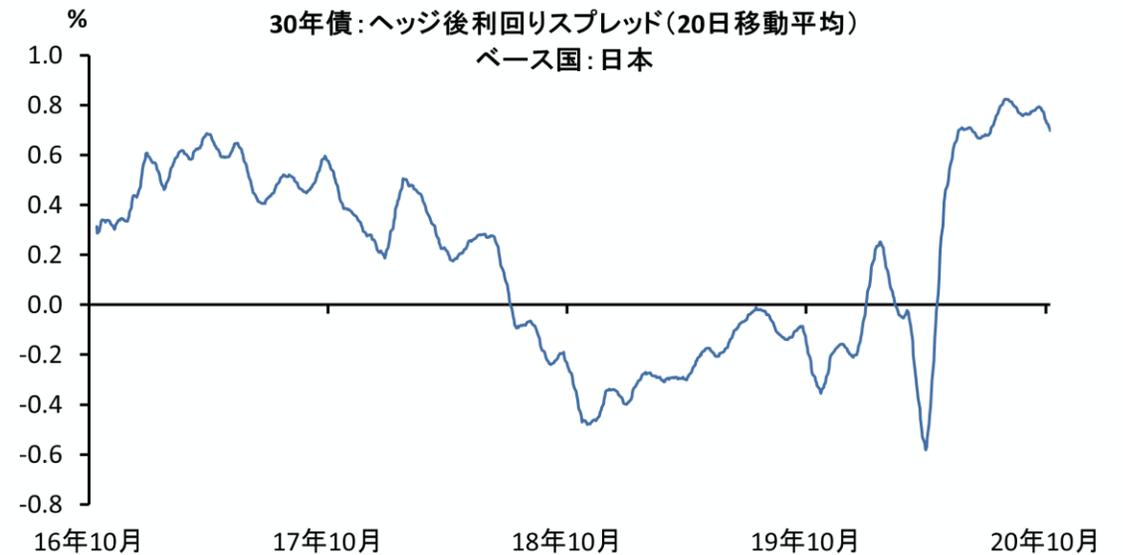
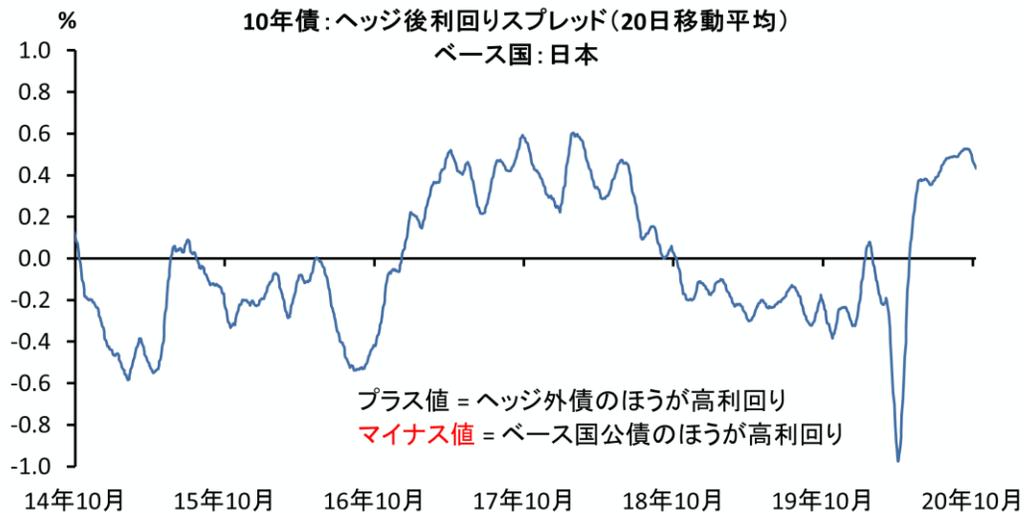
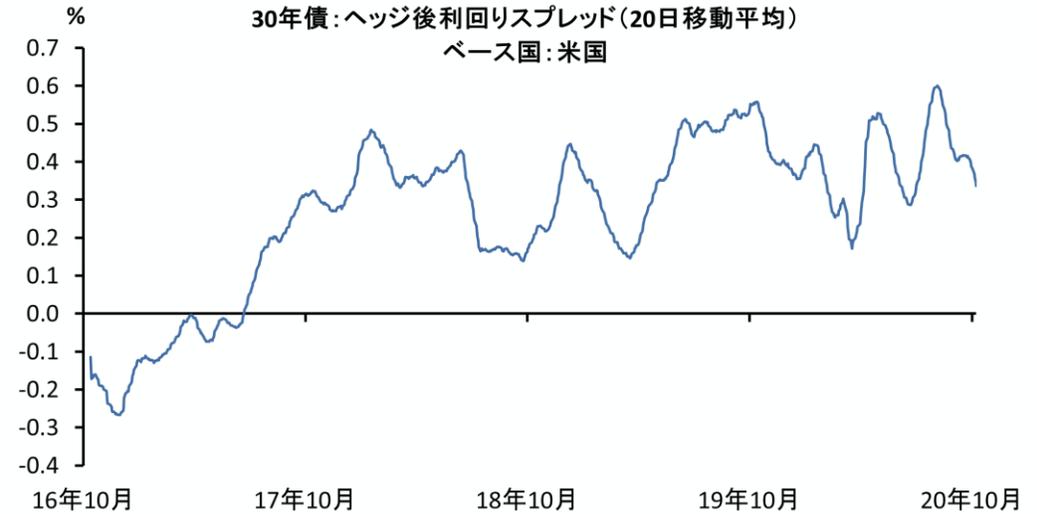
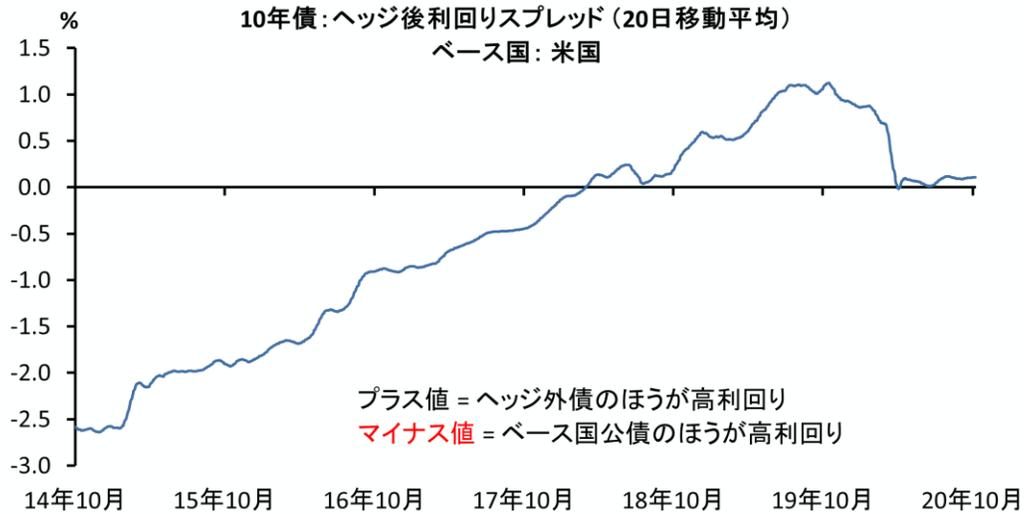


## 豪州・米国比較



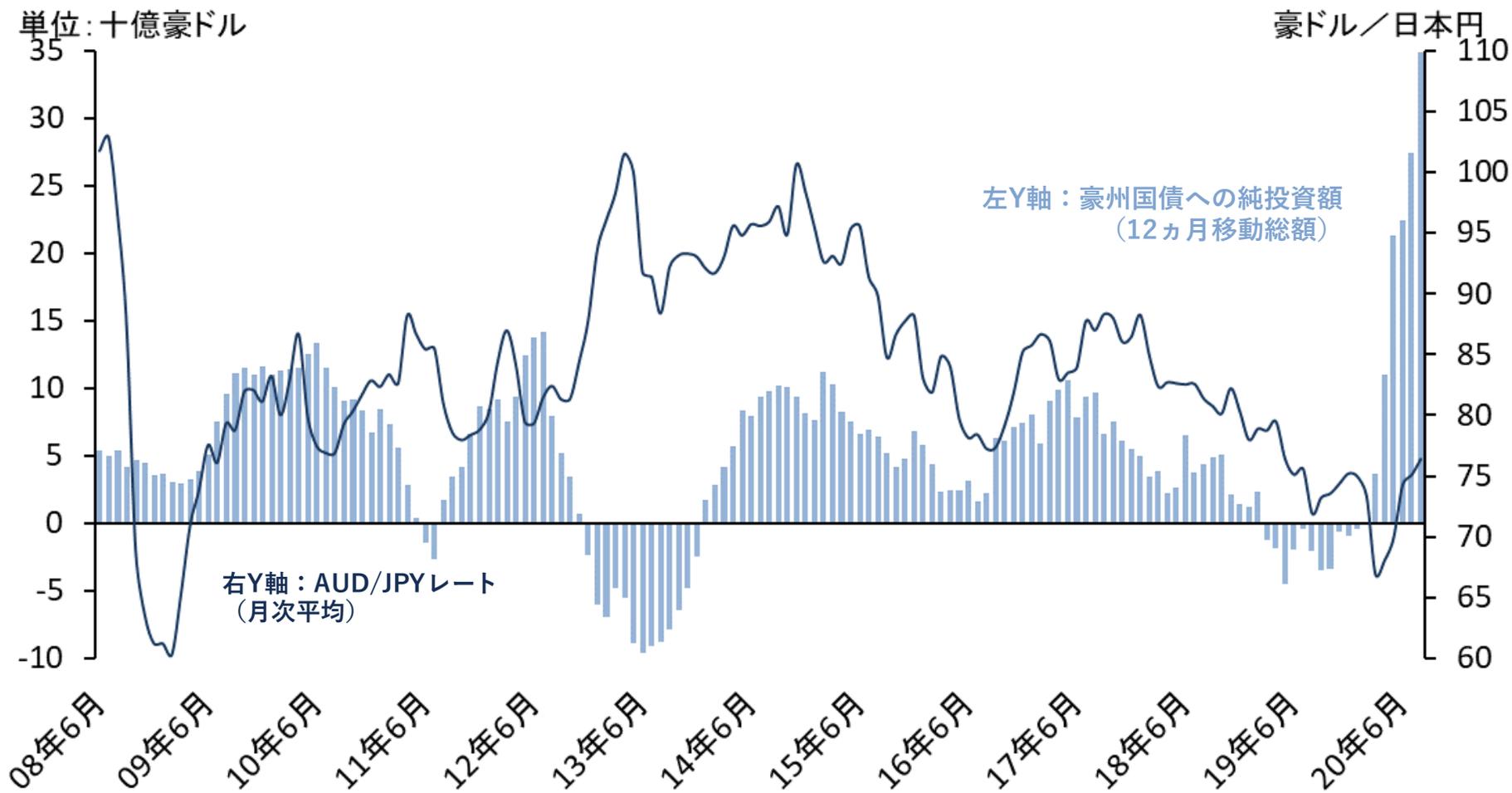
出典：Refinitiv、2020年10月9日時点でのデータ

# オーストラリアのソブリン債スプレッド



出典: Bloomberg、AOFM

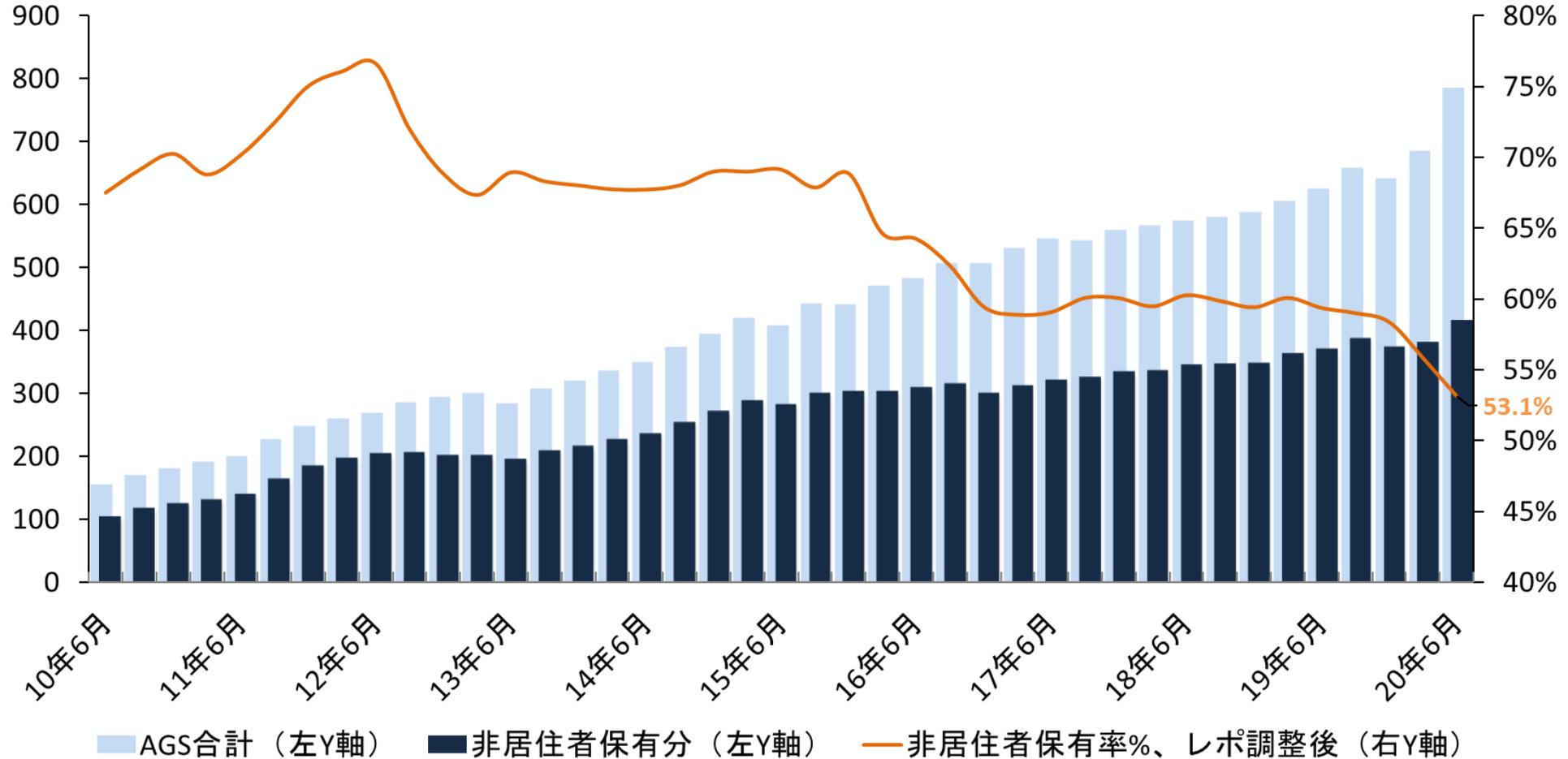
# 日本の投資家によるオーストラリア国債への純投資額 (単位：10億豪ドル)



出典：日本銀行、Bloomberg

# 国内居住者・非居住者のAGS保有状況比

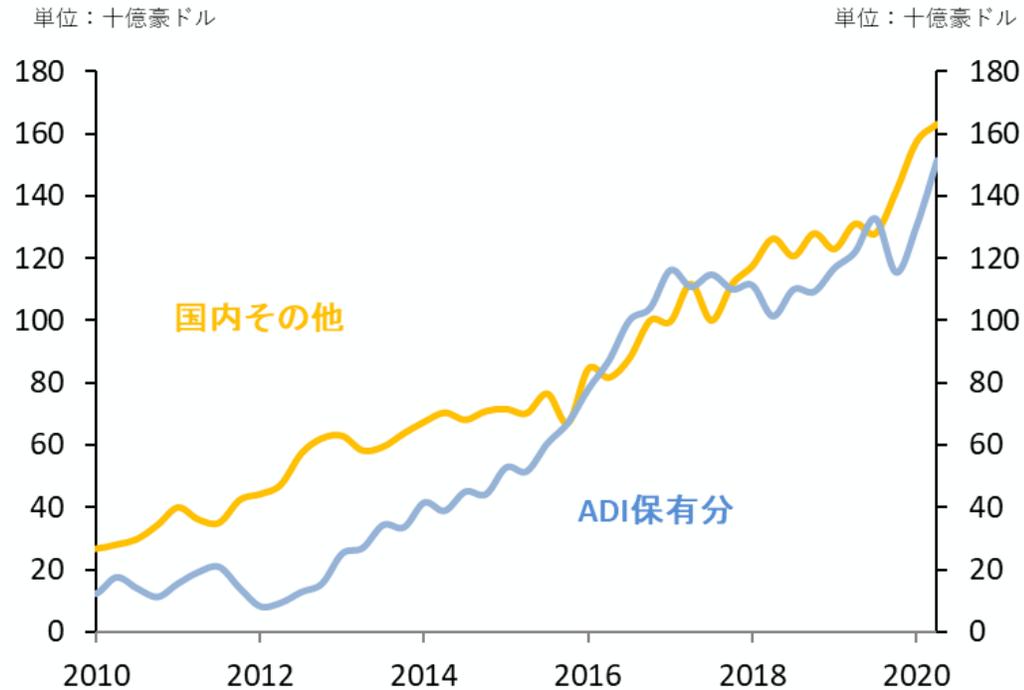
市場価値（十億豪ドル）



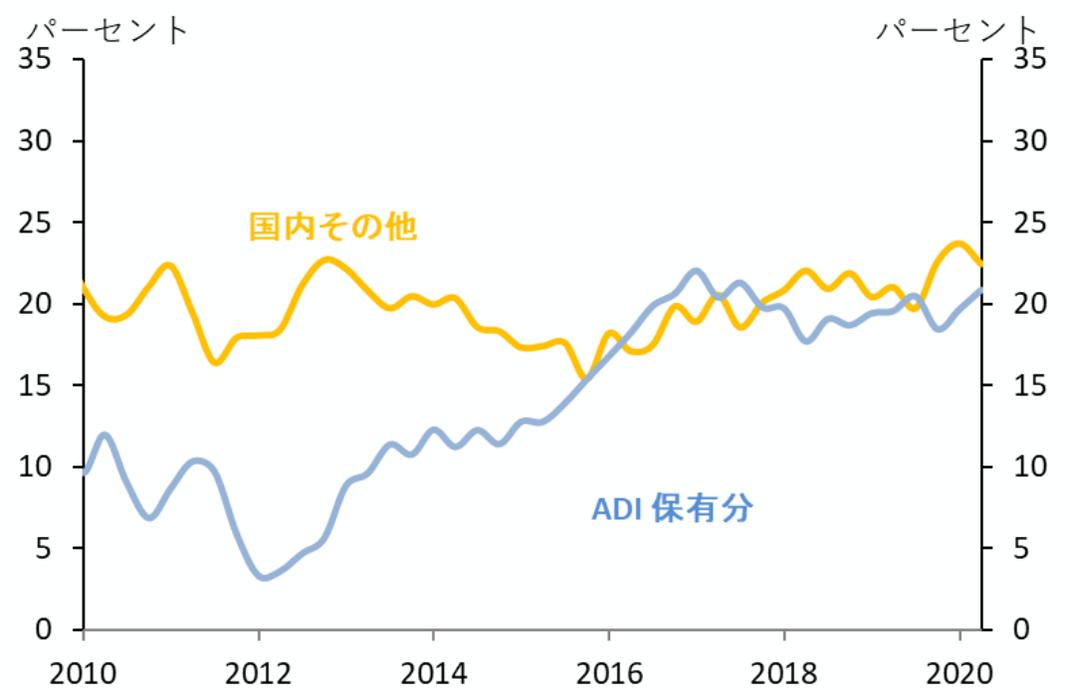
出典：オーストラリア統計局、豪州準備銀行、AOFM

# 豪州国内の銀行・非銀行機関の豪州国債保有状況比

保有額



豪州国債市場に占める割合



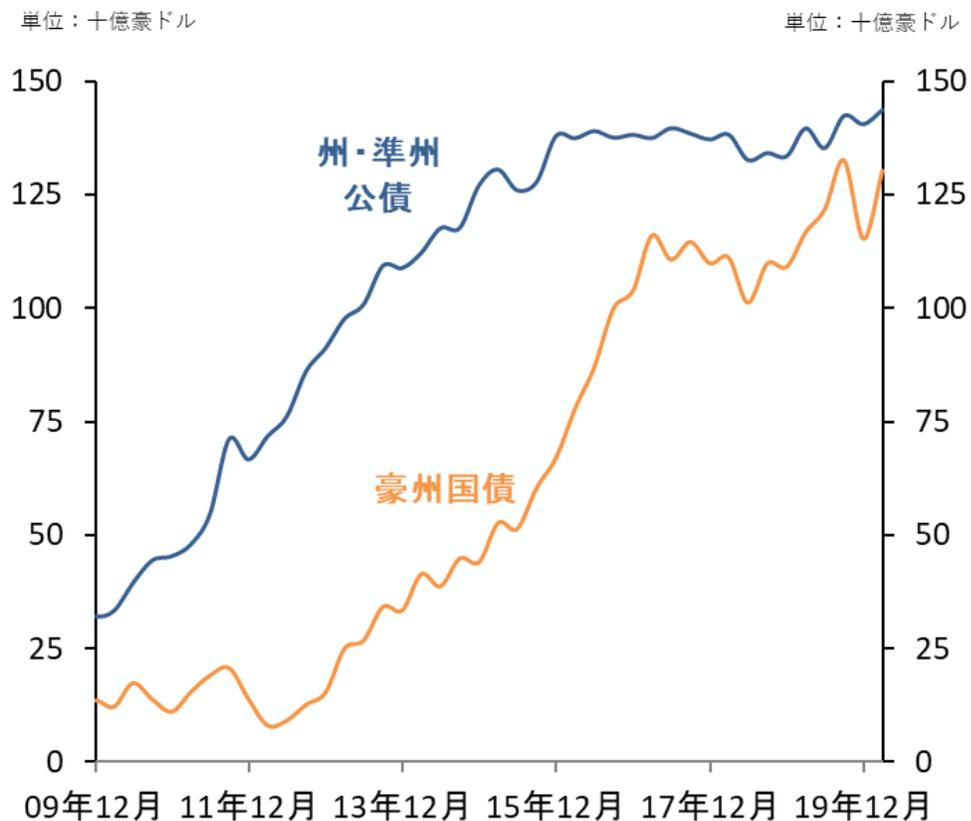
出典：オーストラリア統計局、AOFM、豪州準備銀行

「AGB [豪州国債]」はトレジャリー・ボンドとトレジャリー・インデックス・ボンドを含む。

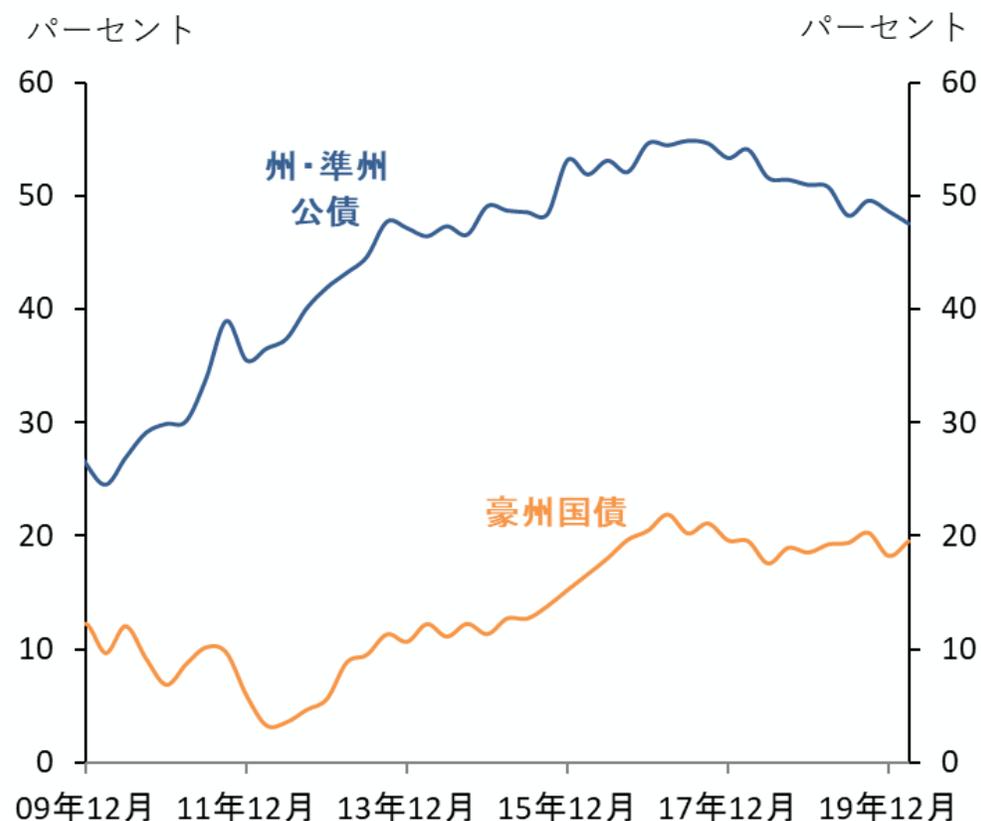
\* ADI：Authorised Deposit Taking Institutions [公認預金取扱機関]。国内銀行を指す。

# 国内銀行による豪州国債および州・準州政府債保有状況

保有額



各市場に占める割合

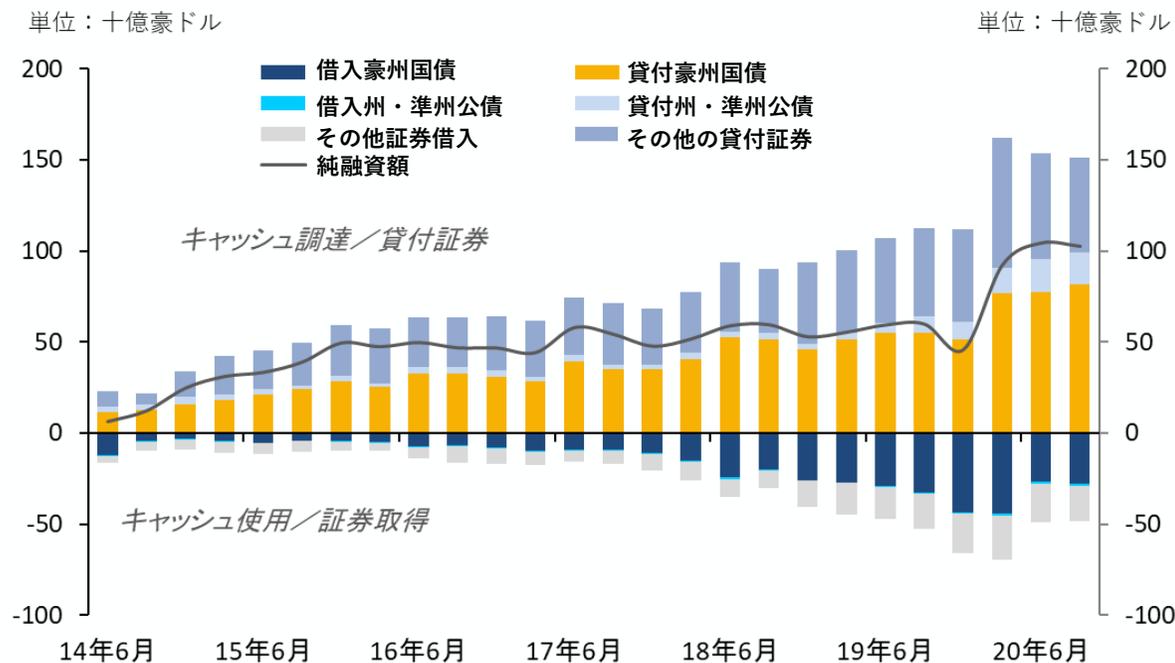


出典：オーストラリア統計局、AOFM

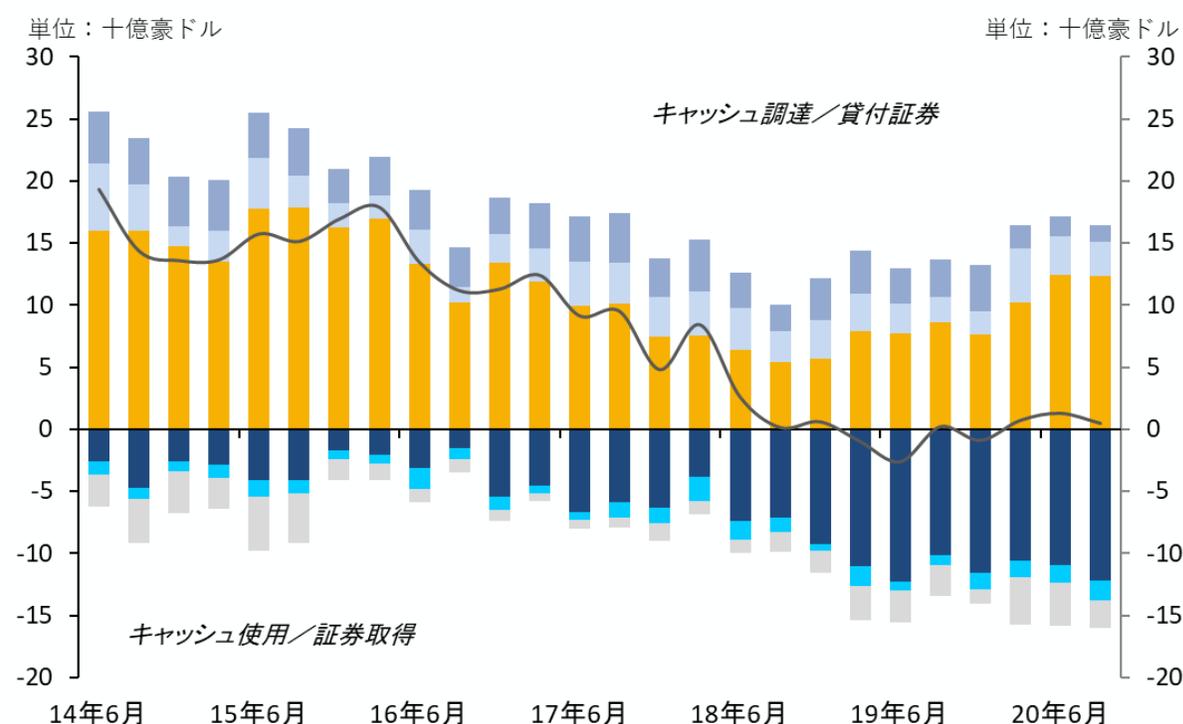
# レポ市場の推移と短期資金調達

レポ市場での資金調達費の上昇は、一部の投資家のAGS（豪州国債）大量保有能力を制限する可能性がある。2019年から2020年にかけて、非居住者投資家によるレポ使用の増加もあり、資金調達状況が緩和した。2020年3月以降、豪州準備銀行は公開市場操作により金融システムに追加の流動性を注入。こうしたオペは、たとえば国内非銀行機関による投資としてのレポ取引を通じたキャッシュ貸付（右グラフ）など、民間セクターをレポ市場から締め出さない程度のレートで実行。

## 非居住者によるレポ市場アクティビティ



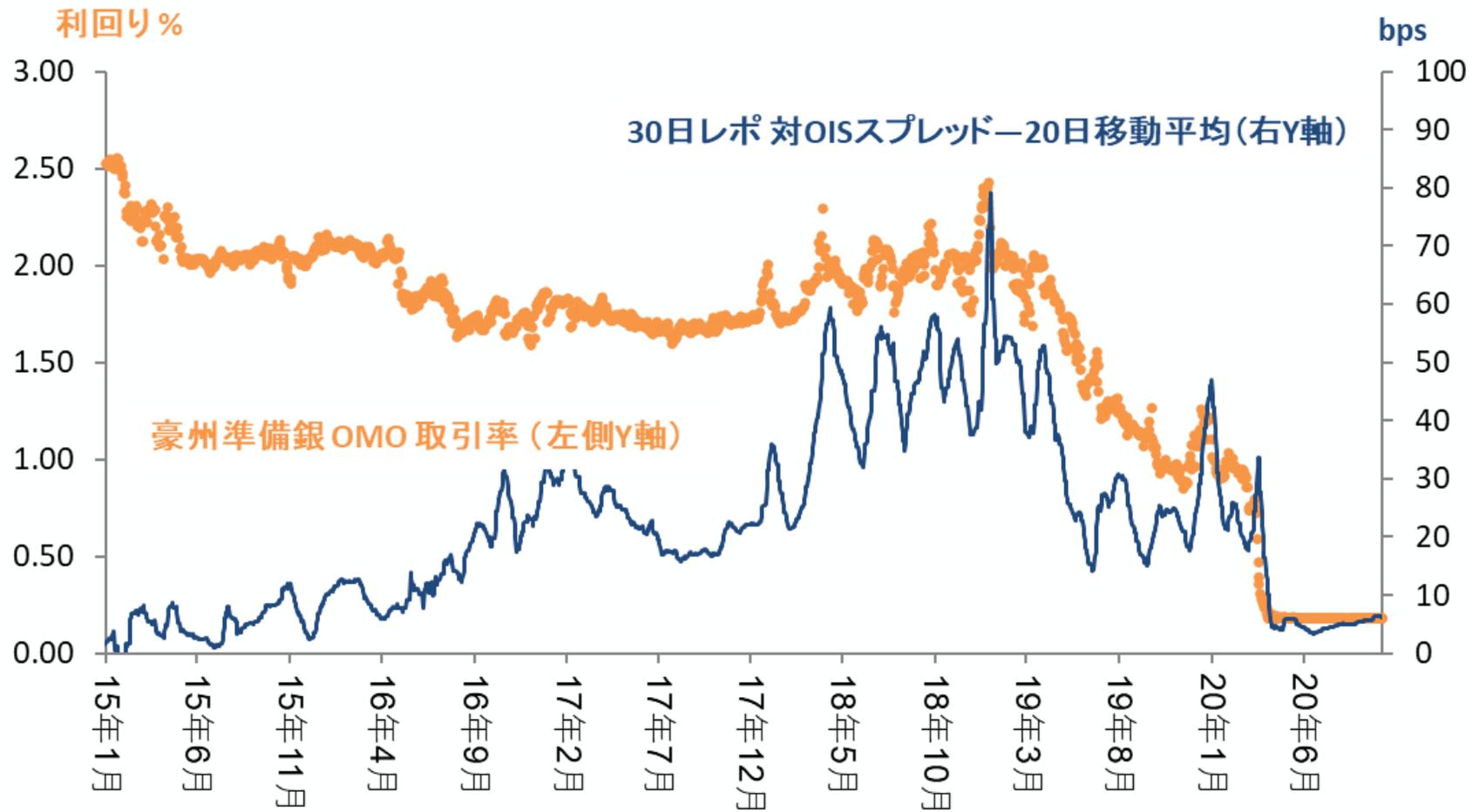
## 国内非ADI\*によるレポ市場アクティビティ



出典：豪州準備銀行。最終データポイント（2020年7月31日）以外は四半期データ。

\*ADI：Authorised Deposit Taking Institutions [公認預金取扱機関]。国内銀行を指す。

# レポ市場の推移と短期資金調達



出典：豪州準備銀行、Refinitiv

# オーストラリア国債

トレジャリー・ボンド：	発行残高 (AUD)	利回り (%)	修正デュレーション
1.75% 2020年11月21日	17,721,000,000	0.07	0.10
5.75% 2021年5月15日	25,824,324,000	0.09	0.57
2.00% 2021年12月21日	16,398,000,000	0.10	1.17
5.75% 2022年7月15日	24,762,708,000	0.13	1.67
2.25% 2022年11月21日	26,500,000,000	0.15	2.05
5.50% 2023年4月21日	34,199,708,000	0.14	2.39
2.75% 2024年4月21日	32,900,000,000	0.16	3.38
0.25% 2024年11月21日	28,000,000,000	0.21	4.07
3.25% 2025年4月21日	32,400,000,000	0.24	4.25
0.25% 2025年11月21日	23,500,000,000	0.32	5.05
4.25% 2026年4月21日	33,400,000,000	0.35	5.02
0.50% 2026年9月21日	25,000,000,000	0.42	5.83
4.75% 2027年4月21日	29,699,566,000	0.47	5.77
2.75% 2027年11月21日	28,000,000,000	0.55	6.46
2.25% 2028年5月21日	29,700,000,000	0.62	6.97
2.75% 2028年11月21日	29,600,000,000	0.67	7.27
3.25% 2029年4月21日	31,999,803,000	0.71	7.57
2.75% 2029年11月21日	32,900,000,000	0.77	8.07
2.50% 2030年5月21日	35,400,000,000	0.80	8.54
1.00% 2030年12月21日	26,700,000,000	0.85	9.60
1.50% 2031年6月21日	24,500,000,000	0.87	9.81
1.00% 2031年11月21日	23,500,000,000	0.91	10.40
1.25% 2032年5月21日	16,200,000,000	0.94	10.70
4.50% 2033年4月21日	14,300,000,000	0.96	10.13
2.75% 2035年6月21日	8,550,000,000	1.15	12.23
3.75% 2037年4月21日	12,000,000,000	1.30	12.97
3.25% 2039年6月21日	9,600,000,000	1.46	14.46
2.75% 2041年5月21日	6,600,000,000	1.55	15.98
3.00% 2047年3月21日	13,300,000,000	1.69	19.13
1.75% 2051年6月21日	15,000,000,000	1.79	23.28
合計	708,155,109,000	ポートフォリオ	6.7
トレジャリー・インデックス・ボンド	発行残高 (AUD)	利回り (%)	修正デュレーション
1.25% 2022年2月21日	6,840,106,000	-0.46	1.35
3.00% 2025年9月20日	7,592,722,000	-0.66	4.66
0.75% 2027年11月21日	5,350,000,000	-0.62	6.97
2.50% 2030年9月20日	5,442,720,000	-0.54	9.04
2.00% 2035年8月21日	4,250,000,000	-0.38	13.25
1.25% 2040年8月21日	3,650,000,000	-0.21	17.96
1.00% 2050年2月21日	3,850,000,000	-0.10	26.10
合計：	36,975,548,000	ポートフォリオ	9.8

出典：AOFM、Refinitiv。2020年10月9日時点のデータ。

オーストラリア国債は、非居住者の利子源泉課税を免除されている。

# トレジャリー・ボンドのマーケットメイカー

トレジャリー・ボンド（中長期債）のマーケットメイキング業務を提供する意志を表明している金融機関の一覧  
（アルファベット順に記載）

具体的なアクティビティの度合いは金融機関ごとに異なります



# ご質問・詳細情報はこちらに

ウェブサイト: [www.aofm.gov.au](http://www.aofm.gov.au)

所在地: Australian Office of Financial Management  
Treasury Building, Level 3, Newlands Street  
Parkes ACT 2600 Australia

お問い合わせ: [InvestorRelations@aofm.gov.au](mailto:InvestorRelations@aofm.gov.au)

実勢利回りの検索には下記をご利用ください:

[www.rba.gov.au](http://www.rba.gov.au)

ブルームバーグ:

“AOFM Go” (ホームページ)

“ACGB Govt Go” (TBおよびTIB)

“ACTB Govt Go” (TN)

トムソンロイター:

“AOFMINDEX” (ホームページ)

“O#AUTSY=YBAU” (TB)

“O#AUILB=YBAU” or “O#AUTSYIL=” (TIB)

“O#AUTNOTES=YBAU” (TN)

# 免責事項

本刊行物に記載されている情報は、一般的なご案内のみのためのものです。記載情報は、法的アドバイスまたはその他の専門家によるアドバイスを成すものではなく、いかなる法域における法令としても依拠されるべきものでもありません。本刊行物は一般的なご案内のみをその意図としているため、概括や一般論としての内容が含まれています。

AOFM（オーストラリア債務管理庁）は最新かつ正確な情報を提供すべくあらゆる合理的な努力をしますが、AOFMおよびオーストラリア連邦のいずれも、その情報の最新性や正確性、または完全性について、一切の責任を負いません。評価見積りや分析、予測、見通し、または将来ないし今後に関する言及はすべて、リスクや不確定性および仮定からの影響を受ける可能性があり、これにより実際の結果やパフォーマンスがそうした言及で暗示される将来予測される結果やパフォーマンスから大幅に異なる場合があります。AOFMは、そうした内容や情報の使用ないしそれらへの依拠に際しては本文書の読者が自らの技能を用い、注意を払うこと、あるいは適切な場合においては専門家によるアドバイスを受けることを推奨します。

AOFMおよびオーストラリア連邦は、明示的か暗示的に関わらず、一切の保証や約束、表示担保責任も負わないものとし、本刊行物に記載されている情報の使用やそうした情報への依拠から、あるいはそうした使用や依拠に関連して発生するいかなる損失・損害（偶発的または派生的な損失・損害を含む）についても責任を負わないこととします。

## 著作権について

### 本刊行物の知的財産所有権について

本刊行物の著作権（および存在する場合はその他の知的財産権）は、別途注記がない限り、Australian Office of Financial Management（AOFM：オーストラリア債務管理庁）が所有しています。

### クリエイティブ・コモンズ・ライセンスについて

連邦国章（下記を参照）やAOFMのロゴ、「Market Makers [マーケットメイカー]」の項に記された一連のロゴ、および著作権を所有する第三者を情報源とする情報を除き、本刊行物に記載されている内容はすべて、Creative Commons Attribution BY 4.0 International [クリエイティブ・コモンズ表示4.0国際] ライセンスにより使用許諾されています。なお、第三者データを当該の第三者からの同意なしに複製することは禁じられています。



Creative Commons Attribution BY 4.0 International ライセンスは、著作の出典の表示を条件として、刊行物の複製や頒布、伝播・発信、翻案を認める標準形式のライセンス同意です。ライセンス使用条件の概要は <https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/> にて、またライセンス使用条件の全文は <https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode> にてご確認ください。

AOFMは、本刊行物（およびそれを情報源とする内容）の出典の表示を以下の文言で行うことを希望します。

出典：Australian Office of Financial Management [オーストラリア債務管理庁] により [クリエイティブ・コモンズ表示4.0国際](https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/) ライセンスに基づいて使用許諾された情報。

Australian Office of Financial Management は、必ずしもこの刊行物の内容を支持するものではありません。

### 連邦国章の使用について

連邦国章 [Commonwealth Coat of Arms] の使用が認められる条件は、「It's an Honour」のウェブサイト上で定められています（[www.itsanhonour.gov.au](http://www.itsanhonour.gov.au) をご確認ください）。

### お問い合わせ

使用許諾や本文書の使用についてのお問い合わせは、[enquiries@aofm.gov.au](mailto:enquiries@aofm.gov.au) までご連絡ください。